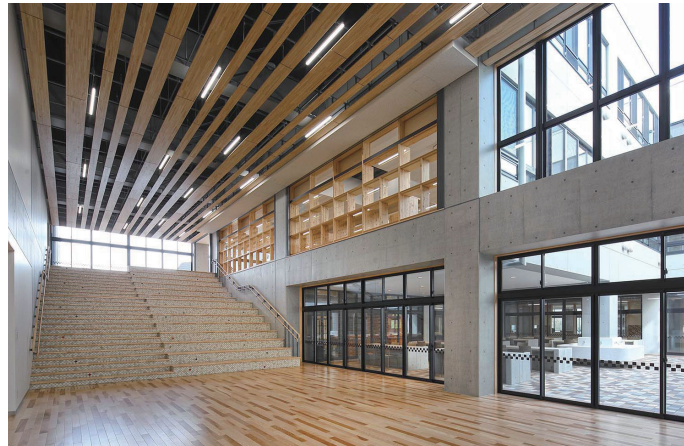


多治見市立笠原小中学校



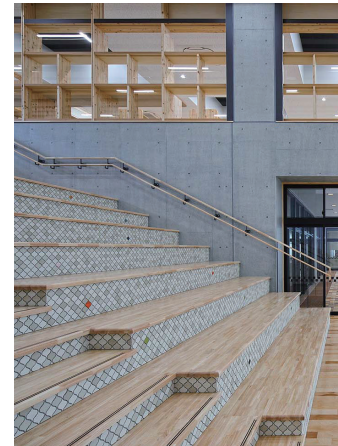
外観

「笠原小中学校」は、タイル産業を核として発展してきた岐阜県多治見市の南方に位置。笠原小学校と笠原中学校を統合し、9年間の連続的な学びを実現する多治見市初の義務教育学校として新設された。



交流の杜

「交流の杜」として、さまざまな交流の場ともなる1Fには、陶芸窯やセラミックアートテラスが設けられ、日々の学校生活の中で地域産業と触れ合うことができる。



モザイク階段



校内には、タイルをモチーフとした内装が随所にあしらわれる。1F「交流の杜」から各教室のある2Fへ繋がる「モザイク階段」には、蹴込部分にモザイクタイルが彩られる。



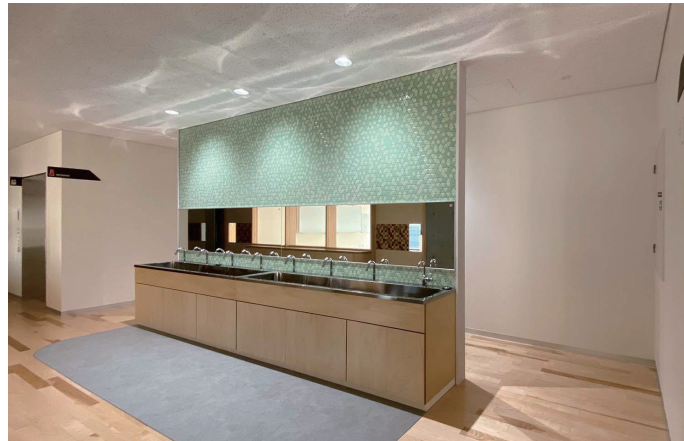
セラミックアートテラス

中庭には作陶ができるセラミックアートテラスがあり、隣接する陶芸室には電気窯を備えている。日頃は児童生徒の交流の場として活用されている。



2F 洗面コーナー

色鮮やかなモザイクタイルをあしらった洗面コーナー。トイレ毎に色柄の異なるタイルが施されており、美しい空間のアクセントとなるとともに、地域産業への親しみや愛着が感じられるような空間となっている。



2F トイレ入口

トイレ入口には、モザイクタイルを施した洗面コーナーを設置。トイレ内には洗面コーナーを設けず、廊下に面して配置され、共用できる仕様となっている。



2F 洗面コーナー

洗面コーナーの水栓には、衛生性と災害対策の両視点から、発電タイプの自動水栓を採用。バケツの水汲みなどに配慮し、1ヶ所は手動で使用する単水栓としている。



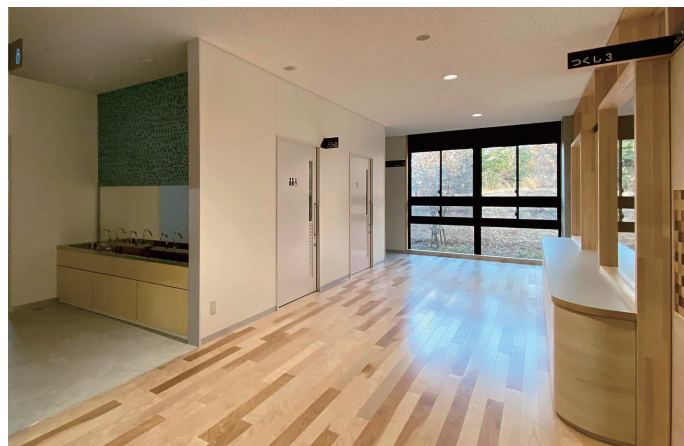
2F 女子トイレ
大便器ブース

大便器は、コンパクト設計で連続洗浄可能なパブリックコンパクト便器・フラッシュタンク式を採用。女子トイレには、擬音装置「音姫」を備えプライバシーに配慮。男女トイレとも各1ブースにL型手すりを設置している。



2F 男子トイレ
小便器コーナー

小便器は、床の清掃性や節水性に優れ、停電時でも洗浄可能な発電タイプの壁掛型の自動洗浄小便器を採用。足元には、尿の飛散によるにおいや汚れを軽減するハイドロセラフロアPUを設置している。

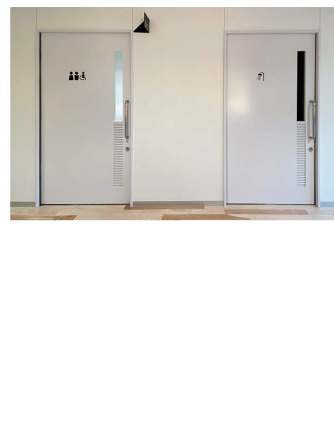


2F 特別支援学級
トイレ入口

特別支援学級の前には男女別トイレのほか、バリアフリートイレを完備。男女別トイレそれぞれに洗面コーナーを設け、ここにも空間のアクセントとして、色鮮やかなモザイクタイルが施されている。



2F 特別支援学級
バリアフリートイレ



バリアフリートイレには、パウチ・しびん洗浄水栓付背もたれを設置。万が一の場合に備え、バリアフリートイレの隣には、シャワー室が用意されている。



1F 職員用トイレ入口

廊下を挟んで、職員室向かいに設置された職員用トイレ。教室や設備のサインは、遠くからでもわかりやすい、突き出しサインとしている。

多治見市立笠原小中学校



1F 職員用トイレ



自動水栓を備えたボウル一体タイプの洗面カウンター。正面の壁面にモザイクタイルをあしらひ、白を基調とした空間に彩りが添えられている。また、男女トイレで色を変えることで、空間に変化を持たせている。



1F 職員用トイレ

職員トイレの便座は、便器やノズルをきれいに保つことができる『きれい除菌水』機能を備えた、ウォシュレットアプリコットPを採用している。



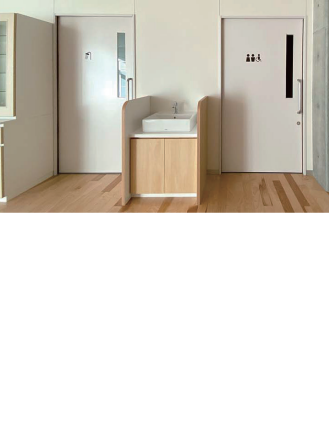
グラウンドトイレ



グラウンドから直接アプローチできる、グラウンドトイレ。児童や生徒だけでなく、地域の方だれもが快適に利用できる仕様となっている。



1F 保健室



保健室には、自動水栓を備えた手洗いカウンターのほか、シャワー室や広めのトイレが設置されている。



1F 保健室 水まわり



保健室には、介助を伴った利用も可能な広めのトイレを設置。さらに、シャワー室や洗濯用設備を完備しており、適切に児童生徒らのケアが行えるようにしている。



グラウンドトイレ

十分な空間と設備を完備したバリアフリートイレは、車いす使用者やオストメイト、大人のおむつ交換など、地域の方々の使用にも配慮し、多様な利用者に対応可能としている。



プール横トイレ

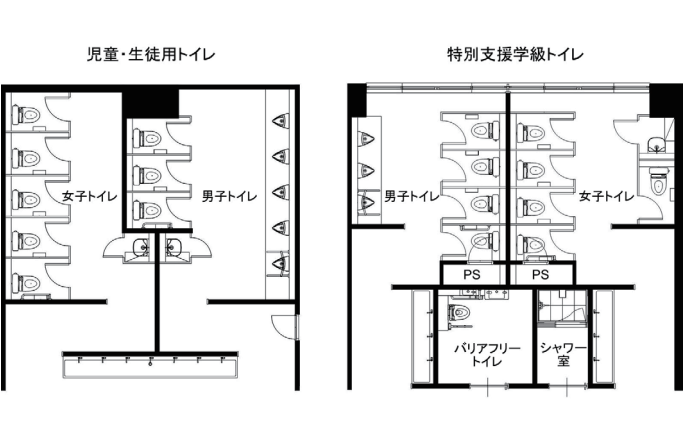
屋外のプールの横にも、男女トイレを設置している。



プール横トイレ



プール横トイレは、水着のまま使用することもあるため、便座は普通便座を採用している。



2Fトイレ図面

水まわりの特長

建物の特徴

岐阜県多治見市南方に位置し、豊かな自然に囲まれた「笠原小中学校」。「笠原の子は笠原のみんなで育てよう」のスローガンのもと、地域の学び舎として伝統を守りながら、笠原小学校と笠原中学校を統合。9年間の連続的な学びを実現する、多治見市初の義務教育学校として新設された。校内には、タイル産業を核として発展してきた地域を反映し、モザイクタイルを軸としたデザインが随所に施されている。特に、色鮮やかなモザイクタイルをあしらった洗面コーナーは、「タイルのまち」笠原町に誕生する学校としての特色を表現している。また、1Fには「交流の杜」として陶芸窯やセラミックアートテラスを設けており、日々の学校生活の中で地域産業と触れ合う環境が整っている。

水まわりの特長

洗面コーナーは、トイレ毎に色柄の異なるモザイクタイルをあしらひ、地域産業への親しみや愛着が感じられるような空間として、校内の水まわりで最も特色が表れている。非接触で衛生的に使用ができる小便器や自動水栓は、電源工事が不要で停電時でも使用可能な発電タイプを採用。学校が防災拠点として機能する際にも、安全性を確保している。バリアフリートイレは、校内の各階とグラウンドに1ヶ所ずつ配置。さらに、特別支援学級の前には、男女別トイレのほかに、バリアフリートイレとシャワー室を用意。保健室にも、シャワー室が設けられている。大便器はすべて洋式便器とし、便座は、ウォシュレットとウォームレット、ブル横トイレには普通便座と利用場所によって使い分けられている。

建築概要

名称	多治見市立笠原小中学校
所在地	岐阜県多治見市笠原町字富士下3387-9
施主	岐阜県多治見市
設計	大建設計・山田一級建築設計事務所設計共同体
施工	建築 岐建・吉川・新興特定建設工事共同企業体 電気設備 松本・高電特定建設工事共同企業体 機械設備 池田・大和特定建設工事共同企業体
竣工年月	2026年1月
敷地面積	42,548.80㎡
建築面積	6,799.37㎡
延床面積	13,645.11㎡
構造・階数	鉄筋コンクリート造、一部鉄骨造・地上3階

おもなTOTO使用機器

パブリックコンパクト便器・フラッシュタンク式:CFS498B
ウォシュレット アプリコットP(擬音装置「音姫」付きエコリモコン):TCF5831AUR
ウォシュレット アプリコットP(温風乾燥付きエコリモコン):TCF5841系
ウォームレット:TCF226P
普通便座:TCF301
音姫(トイレ用擬音装置):YES402R
自動洗浄小便器:UFS900WR
ハイドロセラ・フロアPU:AB690BR
スタンダート(ボウル一体タイプ):MH50
壁掛洗面器:LS721C
台付自動水栓:TLE26SS1W
単水栓:TL155AFR
コンパクト・バリアフリートイレパック:UADAZ01R*A1B**1W、 UADAZ21R*A1A**1W
コンパクトオストメイトパック:UAS8*R*B1NWW
収納式多目的シート:EWC520ARN